

温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 御中



BUREAU
VERITAS

2022 年 8 月 31 日

ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、セブン&アイ HLDGS. サステナビリティデータブック 2022 において株式会社セブン&アイ・ホールディングス(以下、セブン&アイ)により報告される温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

セブン&アイはビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ 1 及びスコープ 2 温室効果ガス排出量

- ・日本国内、米国(7-Eleven, Inc.のエリアライセンスが運営する店舗は含まない)、カナダにおける下記の店舗運営にともなうエネルギー消費による CO₂ 排出量

会社名	対象店舗数	対象報告期間
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	22,139	2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日
株式会社イトーヨーカ堂	133	
株式会社ヨークベニマル	240	
株式会社そごう・西武	10	
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ	425	
株式会社ヨーク	102	
株式会社ロフト	120	
株式会社赤ちゃん本舗	122	
株式会社シェルガーデン	22	
株式会社バーニーズ ジャパン	11	
7-Eleven, Inc.	13,043	2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日

- ・株式会社ヨークベニマルの国内 4 工場の事業活動にともなうエネルギー消費による、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の期間の CO₂ 排出量
- ・アイワイフーズ株式会社の国内 1 工場と 3 営業所の事業活動にともなうエネルギー消費による、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の期間の CO₂ 排出量
- ・株式会社セブン銀行のオフィス 4 拠点(本部を含む)、直営 ATM3ヶ所の事業活動にともなうエネルギー消費による、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の期間の CO₂ 排出量
- ・株式会社セブン&アイ・ホールディングスの本部、伊藤研修センター、久喜センターの事業活動にともなうエネルギー消費による、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の期間の CO₂ 排出量

2) スコープ 3 カテゴリー1 温室効果ガス排出量

- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパンが購入した、以下に示す製品及びサービスに伴う温室効果ガス排出量

製品及びサービス	対象報告期間
店舗で販売された商品類、店舗従業員用のユニフォーム類	2021 年 3 月 1 日から 2022 年 2 月 28 日
店舗で使用された包装材類	2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO14064-3(2019): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のあるセブン&アイの関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、セブン&アイの情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲内の活動からの温室効果ガス排出量を適切に表していない
- ・セブン&アイが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ 1 123,766 t-CO ₂	スコープ 2 2,847,126 t-CO ₂	スコープ 3 カテゴリー1 9,647,904 t-CO ₂ e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に 190 年以上の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、セブン&アイとのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。